

総務大臣賞！

茨城県内自治体として初の映像部門**全国制覇**！

おみたまし  
平成31年全国広報コンクール **小美玉市が特選**  
映像作品名「小美玉ヨーグルトストーリー」

<https://www.youtube.com/watch?v=19zzLJV46Jo>

小美玉ヨーグルトストーリー

検索

主催：公益社団法人 日本広報協会

後援：内閣府 総務省 読売新聞社 協力：全国知事会 全国市長会 全国町村会

茨城県は全国でも有数の酪農地域（※生乳生産量全国8位）で、中でも小美玉市は県内一位の生乳生産量を誇ります。平成26年には「小美玉市乳製品で乾杯を推進する条例（通称ヨーグルトで乾杯条例）」を全国で初めて制定し、結婚披露宴でもヨーグルトで乾杯が行われています。

そんな小美玉市で、平成30年10月20日（土）21日（日）に開催した、全国初の「第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉」の一環で制作した映像が、1964年から実施されている「全国広報コンクール」にて特選に選ばれ、総務大臣賞を受賞しました。授賞式は、6月7日（金）に北九州市で開催予定の全国広報広聴研究大会にて行われます。

#### ■ 小美玉市 島田穰一（しまだ じょういち）市長の受賞コメント

小美玉市の酪農家とヨーグルト工場、映像クリエイターが協力して制作した、まさに小美玉手作りの映像作品「小美玉ヨーグルトストーリー」が日本一に輝いたことを誇りに思います。作品のラストに登場する酪農家とヨーグルト工場の人たちの自信に満ち溢れた笑顔には自分の仕事への誇りが現れており、給食のシーンで子どもたちに語りかけているとおり、酪農やヨーグルトに携わる仕事は「このまち自慢のお仕事」です。

乳牛の堆肥によって肥沃な農地に改良し、大型の高性能機械で牛の飼料を組織的・効率的に行う日本を代表する酪農の里に育て上げた先人たちの教えが、「土・牛・人の共生」です。循環型酪農から生まれる質の高い生乳100%で作る「おみたまヨーグルト」は、贈答用として親しまれているほか、来客時におもてなしの心を表し振る舞われ、集会、宴会、結婚披露宴でもヨーグルトで乾杯が行われています。市内の小中学校の給食でも、小美玉の子どもたちにとってヨーグルトが地元の味として親しまれています。

昨年10月に開催し、39,000人を集めて大成功を収めた、全国初の「第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉」は、職種や世代を超えた市内の若者たちが成功に向けて知恵を絞り、積極的に動き、自分たちで創り上げました。市が掲げるシビックプライドが醸成しつつあると感じています。今回の受賞もまた、このシビックプライドを高め、市民主体のまちづくりを一層進めるエネルギーとなることと思います。

#### ■ 制作意図

「アカノッポ」と呼ばれた痩せた土地を酪農によって肥料を得て肥沃な大地に転換させた先人たちの努力によって、茨城県内一、日本を代表する酪農の里となった小美玉市においても、酪農の後継者不足に悩んでいます。「第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉」開催を機に、土と牛と人の共生をはかる循環型酪農を推進し、国内の優良事例となった小美玉の酪農と、新鮮で質の高い生乳を加工しているヨーグルトが、消費者のもとまで届くストーリーを丁寧に追うことで、子どもたちや市民に歴史ある小美玉の酪農の特長を伝え、「酪農カッコいい」を生み、酪農家の誇りを取り戻したいと願って作った作品です。

#### ■ 放映方法 市HP、Facebook、YouTube、市内小中学校全クラス（183クラス）にDVD配布

本庁、支所2ヶ所、文化ホール3ヶ所、空のえきそ・らら

#### ■ 内容

栄養たっぷりの牧草を食べた牛のおいしいミルクで作るヨーグルトがあなたのもとまで届くまでの物語。

- 第1章 牛のごはん（牧草の収穫）
- 第2章 牛の暮らし（牛舎・搾乳）
- 第3章 牛乳を集めて検査（クーラーステーション）
- 第4章 ヨーグルトをつくる（ヨーグルト工場）
- 第5章 ヨーグルトはどこへ（学校給食）



※第2回全国ヨーグルトサミットは岡山県真庭市で今年9月末に開催されます。

お問い合わせ先：小美玉市企画財政部企画調整課シティプロモーション係 中本 TEL 0299-48-1111（内線 1235）